



第47回 香川県芸術祭「香川県芸術フェスティバル2005」
参加公演・行事「交流と創造～サヌキノココロ～」

憂紀組

program 4

プログラム フォー

文芸パフォーマンス

憂紀組は声の、朗読のエンターテイメントを表現したいと思っています。
ミステリーロマン、SF、仮面の語り部、白い語り部等

プログラム program 1

10/2 (日) PM 1:30 村井建設内 はちの巣ホール

ジョン太とヨーコの
亜熱帯の夜

黒姫とユーラの
悲しい恋の伝説

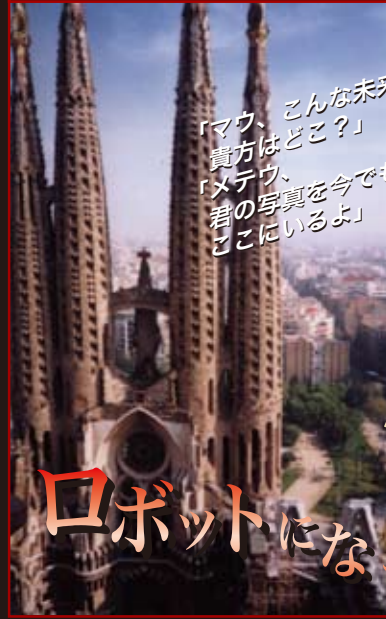
黒姫伝説



ジョン太とヨーコの
二人を案内人に展開する
ミステリーロマン

プログラム program 2

10/23 (日) PM 1:30 オープンカフェ



「マウ、こんな未来へきてしまった。
貴方はどこ？」
「メテウ、
君の写真を今でも持って、
ここにいるよ」



ロボットになった恋人

プログラム program 3.4

11/6 (日) PM 1:30 てんつくマンの店 元気の種

大暗黒魔王は
恐ろしい呪術者だった

一仮面の語り部・

白い語り部ー

幻の家・赤い森

「茜は不思議な病の子供に呼ばれた。」

行方

「父と母を探すのだ。」暗殺呪術集団との闘い

天空の舞の少女 茜が
神を呼び 暗黒に光を!



主催 憂紀組 (憂紀、汐先裕美)

共催 香川県芸術祭運営委員会
香川県
香川県教育委員会
(財)置県百年記念香川県芸術文化振興財団

後援

朝日新聞高松支局
NHK高松放送局
岡山放送
KSB瀬戸内海放送
産経新聞高松支局
山陽新聞社
山陽放送
四国新聞社
TSCテレビせとうち
西日本放送
毎日新聞高松支局
読売新聞高松総局

憂紀組

program 4

プログラム フォー

今回、会場を変えて四作品を見て頂きます。

旗揚げ公演で行った黒姫伝説は、200年前海に沈められた黒姫とユウラの悲しい恋を中心としたミステリーロマンです。

ロボットになった恋人は50年間、病気のため眠っていた少女が恋人を探す、切ない話です。仮面の語り部、白い語り部 幻の家・赤い森/行方は末法の世で、天空の舞の少女茜が苦難を乗り越えて成長してゆく話です。

program
プログラム

1

ジョン太とヨーコの
亜熱帯の夜
黒姫伝説

10/2 (H)

PM 1:30 開演
入場料 500円



村井建設内はちの巣ホール

高松市春日町1739
問合せ (087) 886-6373 (中村迄)
携 帯 090-8978-5392

program
プログラム

2

**ロボットに
なった恋人**

10/23 (H)

PM 1:30 開演
入場料 1,000円
コーヒーセット付き



オープンカフェ

木田郡三木町中769-3
TEL (087) 891-9250

program
プログラム

3. 4

一仮面の語り部・
白い語り部ー
**幻の家・赤い森
行方**

11/6 (H)

PM 1:30 開演
入場料 1,000円
コーヒーセット付き



てんつくマンの店
元気の種

高松市郷東町29-20
TEL (087) 881-5356

憂紀組 2005 final

憂紀 汐先裕美 2人絵画展

12/3 (土) 4 (日)

AM 10:00 ~ PM 5:00
入場無料

憂紀組公演

12/3 (土) 4 (日)

PM 1:00 開場 1:30 開演 2:30 終演
入場料 各1,000円(コーヒー付き) 要予約 20名定員

演目 12/3 ロボットになった恋人
12/4 黒姫伝説 特別編

ゲスト出演 74歳ギターリスト 汐先登

※都合により番組の変更があります。

海辺のギャラリー
めだかの学校

東かがわ市三本松101-3
問合せ: 浅野
携帯TEL 090-8698-3300



憂 紀

汐先 裕美



憂紀組 — 2人の舞台のために —

憂紀組は憂紀、汐先裕美の2人が2005年3月に結成した、文芸パフォーマンスユニットです。オリジナル(憂紀作)の原稿を基に汐先裕美が長年の演劇感性を活かし、憂紀と共に脚色し、2人で作成した絵画、舞台オブジェを飾り、その三次元空間で演出、構成、音楽をも独自で考え、2人の舞台を作り上げます。

幻想的な朗読パフォーマンスをぜひご堪能下さい。

2005年9月 憂紀 汐先裕美